

## 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	准教授
氏名	山口 亮介		
NAME	Ryosuke YAMAGUCHI		

## 1. 研究課題

（和文）近世後期日本の外国語辞書翻訳にみえる西洋法政関連語についての研究

（英文）Research on keywords related to Western law and politics present in translated texts of foreign language dictionaries in 19th century Japan

## 2. 研究期間

2019・2020・2021 年度 ※2021 年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により 1 年間延長

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）本研究は、19 世紀の日本において翻訳・刊行された外国語辞書についての調査を行い、それらの辞書にみえる法学関連語彙の翻訳を抽出・整理してその特徴や傾向を分析することを通じて、同時期にわが国において輪郭を形成するに至る西洋法や制度に関わる諸概念概念のあり方やその特質を明らかにするものである。これにより研究は、日本における近代法継受にかかわる研究史上の「ミッシングリンク」ともいべき近世後期の日本における近代法概念の認識と理解のあり方について、特に近代法学の前提とする「（人民の）権利」や「市民」に関する法概念の射程と限界を論じる議論の確固たる基盤を形成することを目的とするものである。

本研究を通じ、現時点までに次の成果を刊行した。

- ①『法制史学会 70 周年記念若手論文集 身分と経済』、額定其労ほか編、共著（担当範囲：山口亮介「天保・弘化期のオランダ法典翻訳における burger 関連語の訳出」）査読有、347-389 頁、慈学社、2019 年
- ②「（連載）法とことばの近代史（No.1～12）」、山口亮介、ビジネス法務、査読無、第 20 巻 9～11 号・21 巻 1～4、6～9 号、2020～2021 年
- ③「宇田川榕菴訳稿 涅德尔蘭土王國政法「コンステテューチャー」」、山口亮介、法史学研究会会報、査読無、第 23 号、191-197 頁、2020 年
- ④『法の手引書／マニュアルの法文化』、松園潤一郎編、共著（担当範囲：山口亮介「明治初期における伺のなかの西洋法」）、査読無、85-106 頁、2022 年

（英文）This study investigates foreign language dictionaries translated into Japanese in the 19th century and analyzes the characteristics and trends of keywords related to jurisprudence in those dictionaries to clarify the nature and characteristics of various concepts related to Western law and institutions that formed the contours in Japan during the same period.